

対馬北警察署協議会第3回会議議事概要

日 時	令和元年7月23日(火) 14時00分～16時00分
場 所	対馬北警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 田代会長 濱田委員 平山委員 山本委員 國分委員</p> <p>2 警察署 車署長 川口副署長 犬山刑事生活安全課長 永吉警備係長 小田地域交通課長</p> <p>3 書 記 警務係長</p>
会 議 の 状 況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 外国人を含めた交通事故抑止対策について</p> <p>ア 韓国人への交通安全教育等として、レンタカー業者による「交通安全共同宣言」の実施、外国人交通事故発生マップの配布及びメディアを利用した広報啓発を実施した。</p> <p>イ 高齢者対策として、独居高齢者、高齢者夫婦及び高齢者同居世帯を個別訪問し安全教育を実施した。</p> <p>ウ その他として、白バイ隊による交通安全教育及び新入生に対する交通安全教育を実施した。</p> <p>(2) 沿岸諸対策の推進について</p> <p>ア G20大阪サミットの開催に伴う国際船検問の強化を図った。</p> <p>イ 海外から比田勝港に入港した船舶に対する調査活動を実施した。</p> <p>ウ 沿岸警戒の強化として、地域係勤務員による沿岸警戒等を実施した。</p> <p>エ 爆発物の原料となり得る化学物質取扱店に対する協力依頼として、不審購入者の来店等を想定したロールプレイング型訓練を実施した。</p> <p>オ 密航及びテロ抑止対策に向けた広報活動として、イベント会場において密航及びテロ抑止対策啓発チラシ等を配布した。</p> <p>2 平成31年4月から令和元年6月までの業務重点推進結果について 署長及び各課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 高齢社会総合対策の推進</p> <p>(2) 各種術科訓練の推進</p> <p>(3) 犯罪抑止対策の推進</p> <p>(4) 犯罪検挙活動の強化</p> <p>(5) 巡回連絡による管内の実態把握</p> <p>(6) 外国人を含めた交通事故抑止対策</p> <p>(7) 沿岸諸対策の推進</p> <p>(8) 災害対策の推進</p>

	<p>3 業務重点推進計画について 署長及び各課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 高齢社会総合対策の推進 (2) 各種術科訓練の推進 (3) 少年の非行防止及び有害環境の浄化 (4) 性犯罪事件の捜査強化 (5) 夏期における水難・山岳事故防止対策の推進 (6) 交通事故抑止対策の強化 (7) 沿岸諸対策の推進 (8) 災害対策の推進</p> <p>4 諮問テーマの設定について 署長から、協議会に対して次のとおり諮問テーマが設定され、次回協議会において答申されることとなった。</p> <p>(1) 諮問テーマ 「高齢者の交通事故対策について地域住民ができる取組」について</p> <p>(2) 設定理由 警察では、交通事故防止のため、広報キャンペーンや訪問活動など各種施策を推進しているが、地域住民が交通安全対策について考えて行動してもらうことで、高齢者の交通事故防止により効果が上がるものと考えているため</p> <p>5 速度取締りの指針について 地域交通課長から、令和元年下半期における対馬北警察署の速度取締りについて、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 速度取締り路線 国道382号及び主要地方道上対馬豊玉線</p> <p>(2) 交通指導取締り要点 ア 横断歩行者妨害違反 イ 酒気帯び運転</p>
提出意見	<p>1 少年の非行防止等有害環境の浄化対策 夏休み期間には少年らの気が緩み、少年非行が増加する可能性があるため、青少年の非行防止対策を推進してもらいたい。</p> <p>2 関係機関と連携した災害対策の推進 台風、大雨等が予想される季節であり、先日も河川の氾濫、土砂災害及び床上浸水が発生しているため、県、市等と連携した災害対策を推進してもらいたい。</p>